

音声と動画の二刀流を楽々楽しむ！

インターネットカメラという、まったく新しいアイテムを生み出したセナ。すでにGoPro用アダプタの「GP10」など、インターネットと接続して使えるカメラを続々とリリースしている。そしてこのインターネットカメラは、車載カメラと会話機能がひとつになっているのだ。前部にカメラ用のレンズが付いた、インターネットとしては個性的なデザイン。最長通信距離1600m、最大4人での同時通話が可能、FMラジオも搭載、さらに他社インターネットとの通話も可能と中高級モデルにふさわしい機能を持つ10C。カメラは高画質を実現するとも明るいレンズを搭載し、フルHD画質の映像が撮れる本格的なものとなっている。ポイントはカメラとインターネットが一体になっているということ。撮影するムービーには走行音だけでなく自分の声、そしてインターネット通話の相手の声と同時に録音できる。さらに、スマホの音楽、またはFMラジオ機能で流れる番組の音声も重ねて録音できるのである。

Point_3 旅先で動画をチェック



映像の入ったマイクロSDカードをスマホやタブレット、PCに差せばすぐに映像が見られる。またテレビとHDMIケーブルがあれば大画面で楽しむことも可能。昼食や宿で映像を見れば、さらにその場が盛り上がる

テレビで映像を見るには左のマイクロHDMI端子にケーブルを接続。タブレットやPCで見るなら、右のマイクロSDカードを使うといい



Point_4 絶景を写真として残す!



動画の録画や写真撮影に使う本体上面のカメラボタン。カメラモードがオンであれば、ボタンを押すだけで写真の撮影ができる。動画撮影中でもシャッターが切れるため、希望の瞬間を写真として残すことが可能だ



Point_5 アクティブな撮影もOK

取外しても使える!

ヘルメットから簡単に取外せるため、カメラだけを手に持った撮影も楽しい。ヘルメットを持ち込めない場所は、ハンディカメラのように使える。ケーブルを外して本体のみの撮影の場合、本体内蔵マイクで録音できる



ハンディのようにも使える

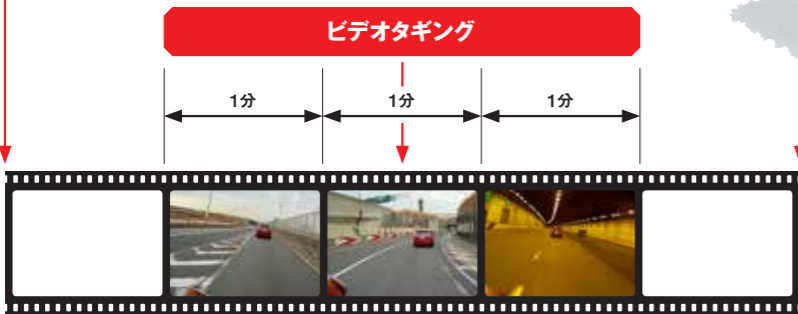
屋外であれば10Cをヘルメットに付けたままでも撮影することができる。125°という広い画角を持ったレンズなので、おおよそ被写体にヘルメットを向けさえすれば、まず狙いを外すことがないだろう



Point_6 残したいところだけ残せるビデオタギング

ビデオタギングモード開始

ビデオタギングモード終了



ビデオタギングは上の図のようにボタン操作前後の3分間の映像を記録する機能。この機能を使えば、大切な瞬間を撮り逃すことなくツーリングを楽しむことができる



レンズはF2.0と明るく125度の画角を持っている。また30度の範囲で回転できるため、傾きを補正して撮影できる

Spec

撮影視覚視野:125°
解像度:1080p/30fps 720p/60fps, 720p/30fps
録画時間:-
外部出力:microHDMI



Point_1

使いやすさのこだわったディテール



1.セナ・インターネットのアイコンともいえる大型のジョグダイヤルホイール。グローブをした手でも回しやすいと定評のあるデザインだ 2.インターネットとしての操作は、ジョグダイヤルのほかに後面のフォンボタンのみとシンプル 3.ヘルメット側のマウントはカメラアングル調整用に角度を調整して固定できるつくり

Point_2

インターネット機能も充実



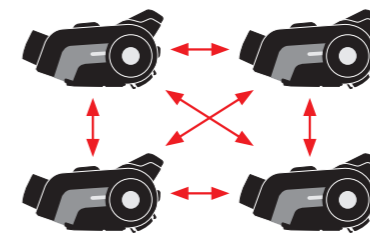
最大通話距離は1600m

インターネット通話が可能距離は最大で約1600m。高速道路などで相手との間が離れていたり、クルマが間にはいつても会話が可能だ。インターネットをトランシーバー代わりに使える通話性能を持っている



FMラジオ機能

FMラジオ放送機能も搭載。BGMとして音楽を聞いたり、ツーリング先の地元局で現地のイベント情報を得たり、さらに交通情報番組で渋滞などの情報を耳から得ることができる。最大で10の放送局のメモリーも可能だ



4台同時通話

インターネット通話は、ライダーとパッセンジャーのような2人だけでなく、最大4人で同時に会話が可能。仲間と連れ立って走るときには、次の分岐点の進路や休憩のタイミングといった情報をメンバー全員で共有できる



ミュージックシェア

Bluetoothで接続したスマートフォンに入っているお気に入りの音楽をステレオで楽しめる。さらにその音楽をインターネット通話する相手と共有して一緒に聞ける「ミュージックシェアリング」機能も搭載している